

**令和３年度 全国学力・学習状況調査
教科に関する調査結果及び考察について**

保護者の皆様へ

白河市立大信中学校長

令和３年５月２７日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は３年生で、国語と数学の２教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、生徒の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部分であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教 科	全国平均 正 答 率	下回って いる	やや下回 っている	ほぼ同じ	やや上回 っている	上回って いる
国 語	６４．６％		○			
数 学	５７．２％	○				

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
話すこと・聞くこと	79.8%	○				
書くこと	57.1%	○				
読むこと	48.5%					○
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	75.1%			○		

【考 察】

- 「話すこと・聞くこと」では、話し合いの話題や方向を捉えて、話す内容を考える問題が全国平均を下回っていました。話し合いの中で何が問題で、どのように話すのかを明確にすることに課題があるため、課題の解決を図る話し合い活動を増やし、流れを踏まえて発言内容を考え、話し合うことを意識づけるような指導を行っていきます。
- 「書くこと」では、伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書く問題が全国平均を下回っていました。伝えたい事柄を相手や場に応じた言葉遣いで書くことに課題があるため、敬語の使い方や書き方を確認していく機会を設け、練習を繰り返していきます。さらに、日頃から敬語を正しく使って話したり、短い文章を書いたりしながら伝えたい事柄を効果的に伝える力をつけさせていくような指導を行っていきます。

【数学：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と式	64.9%	○				
図 形	51.4%	○				
関 数	56.4%	○				
資料の活用	53.8%					○

【考 察】

- 「図形」では、平行四辺形になるための条件を用いて説明する問題や、与えられた図形で常にいえることを記述する問題が全国平均を下回っていました。図形の性質を論理的に説明することができるように、既習事項を使って図形の性質を考える問題を数多く解くことで、確実な定着を図っていきます。また、授業や定期テストで、説明や証明する場面を積極的に設定することで、理解を深めていきます。
- 「関数」では、グラフを読み取る問題や、与えられた表やグラフを用いて説明する問題が全国平均を下回っていました。「式」「表」「グラフ」を用いて事象を考察する場面を設定し、数学的用語を用いて、その特徴を説明できるようにすることで、相互の関連に関する理解を深めていきます。さらに、ICT機器を効果的に使うことで、学習内容の確実な定着を図っていきます。